

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.45

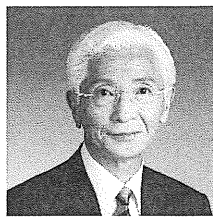
発行
一般社団法人 青森県畜産協会

新年のご挨拶



謹

賀



新

年



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

令和5年度の年頭に当たり、会員の皆様及び関係者の皆様から昨年賜りました協会業務の推進に関わる御支援と御協力に対し、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、国内で新型コロナウイルスの感染が続いたほか、畜産関係では、ウクライナ情勢や為替相場などを背景とする生産資材の高騰、特に、配合飼料価格については、かつてないほど高騰し、生産者にとっては経営の大きな痛手となっており、その厳しい状況が今も続いています。また、家畜衛生関連では、高病原性鳥インフルエンザが、発生の多かった昨シーズンを上回るペースで猛威を振るっており、本県においても、年末に国内最大規模となる農場での発生がありました。豚熱についても、引き続き国内での発生が見られているほか、アフリカ豚熱の海外からの侵入も危惧されるところです。

こうした状況の中、国や県においては、畜産経営を支えるための緊急的な対策を措置しています。当協会としても、会員の皆様と一丸となり、肉用子牛や肥育牛のセーフティネットの取組や収益力を強化するための機械等を整備する畜産クラスター事業、肉用子牛生産者の生産意欲を維持するための臨時的な事業などを的確に実施できる体制で臨みたいと考えています。

また、家畜衛生については、高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生防止に向けた、飼養衛生管理基準に沿った対応の徹底に加え、牛伝染性リンパ腫や牛ウイルス性下痢、ヨーネ病の感染防止対策にも着実に取り組んでいきます。

今年は、「飛躍」の意味を持つ「卯」年です。近年の様々な困難な状況を飛び越え、将来に向けての光が見える地点へ着地し、希望が芽生える明るい1年になることを期待しています。

結びに、会員の皆様と関係者の皆様のますますの御健勝と御活躍をお祈りし、新年の御挨拶といたします。



2023



2023年初セリ



令和5年1月13日（金）、七戸町にある青森県家畜市場において、肉用子牛の初セリが行われました。当日は、例年にない暖かい天候の中、県内各地から生産者の皆さんが手塩にかけた黒毛和種の子牛たちが家畜市場に集まりました。

初セリの式典は、主催者挨拶と来賓祝辞、和牛改良の貢献者への知事感謝状の授与の順で進み、当畜産協会の小山田会長の発声により、りんごジュースで乾杯が行われました。これに続き、3年ぶりとなる恒例の「餅まき」が復活し、生産者の皆さんの笑顔の中、初セリの雰囲気盛り上がりしました。

式典が終わったあと、集まった子牛514頭がセリにかけられ、1頭あたりの平均価格は約61万円となりました。新年最初の最高値は、122万円の値を付けた雌牛でしたが、全体として雌牛は前月を下回り、去勢牛は前月を上回る結果となりました。

不安定な社会情勢の中で、子牛価格は前年と比べると、9万円程度下がっており、一層の下落が心配されていますが、ここ数か月は、下げ止まりの状況が続いています。今年は、是非とも、価格が上向きに転じてくれること、そして、関係者の皆さんにとって、素晴らしい年になってくれることを願っています。

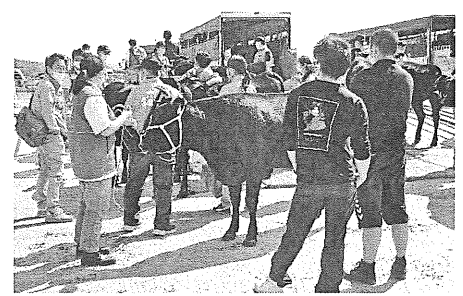
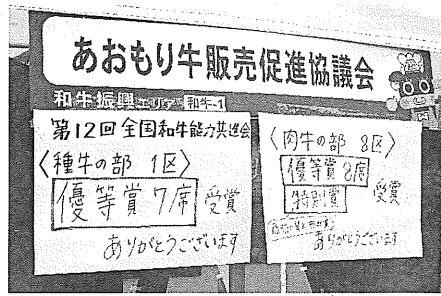
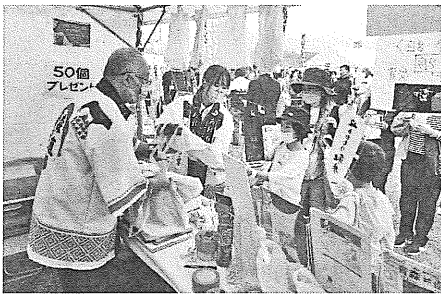
あおもり短角牛を食べる会について

当協会では、青森県の特産畜産物である日本短角牛のPR強化や消費拡大のため、日本短角種牛肉「産直」協議会が行っている「あおもり短角牛を食べる会」の牛肉の発送作業のほか、協会ホームページを通じてあおもり短角牛のPR活動をしています。

「あおもり短角牛を食べる会」では、お申込みいただいた会員の皆様へ牛肉を8つの部位にカットし、年4回お届けしています。その発送作業を、協議会事務局を務めている七戸畜産農業協同組合職員をはじめ、上北県民局や、畜産協会の職員が行っています。

赤身の旨さが特徴でファンも多いあおもり短角牛ですが、飼養頭数が年々減少していることなどから、「あおもり短角牛を食べる会」は、残念ながら今年度ももちまして終了となります。「あおもり短角牛を食べる会」を長くご愛顧いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。

第12回 全国和牛能力共進会 鹿児島大会



令和4年10月6日(木)～10日(月)の日程で第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されました。5日間で30万8,000人が来場する盛況ぶりで、当協会も青森県PRブースで十和田市牛楽館の短角牛丼300個やトートバック360枚を県の担当の方と一緒に配布しました。各日10時から配布を開始しましたが、行列がすぐさまでき上がり、1時間程で配布終了となってしまい、お渡しできなかった方には申し訳なく思っています。共進会の結果は、種牛の部第1区(若雄)で産業技術センター(畜産研究所)が優等賞第7席(全体の7位)、肉牛の部では、第8区(肥育、父牛:広清)で金子ファームさんが優等賞8席(全体の8位)と特別賞(脂肪の質と形状賞)を受賞しました。特に第1区は、今回が3回目の出品となりますが、畜産研究所の継続的な努力と大会にかける思いが成績に反映された結果となりました。次回は北海道で開催される予定ですが、青森県の一層の躍進を期待しています。

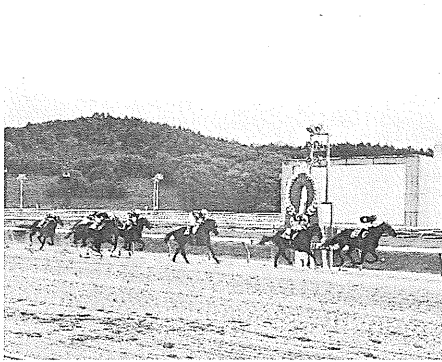
第13回大農林水産祭



令和4年11月12(土)・13日(日)の2日間、青森市の「産業会館」で、第13回大農林水産祭が開催されました。大農林水産祭の開催は、令和元年度以来、3年ぶりの開催となり、青森県や南北海道などが広域連携をしながら、地域の加工品や観光をPRをするとともに、本県の豊かな農林水産物や食の魅力をアピールすることができるイベントで、今回は約7,500人を上回る来客者があり、この中で畜産協会は、養蜂協会の事務局として蜂蜜の販売などのお手伝いをしました。

今後も、青森県の農林水産業の振興や地産地消を推進するイベントには積極的に参加し、養蜂業の振興・発展に向けた活動をしていきたいと思ひます。

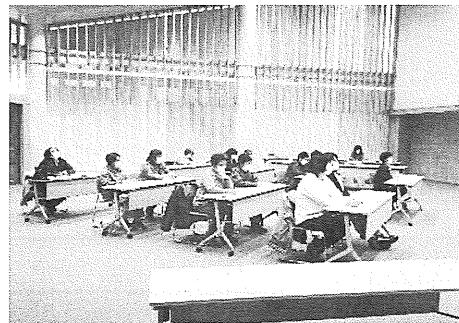
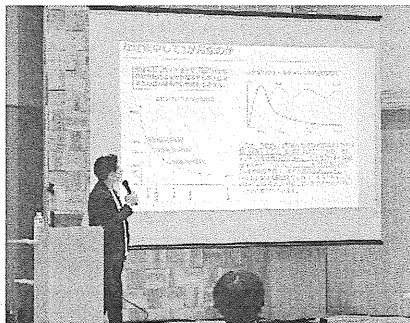
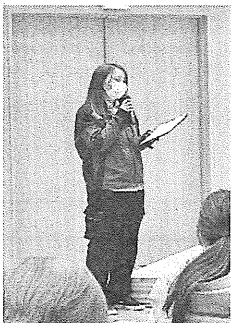
競馬ツアー2022 IN 盛岡競馬場



令和4年10月23日（日）、地方競馬振興を目的とした令和4年度競馬ツアーを開催しました。申込開始当初から予想を超えるお問い合わせをいただき、当日は59名の方が参加してくれました。

毎年、楽しみにしてくれている競馬ファンの方々や、新型コロナの影響で3年ぶりの参加となる御家族連れなどで大いに盛り上がりました。帰り際に「お陰様で、楽しい1日になりました」「来年も楽しみにしています」と言った嬉しい声が聞かれました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

東通村女性交流会



令和4年11月18日（金）、東通村肉用牛女性部会員を対象とした交流会を東通村の「あがさいホール」で開催しました。東通村の畜産情報、株式会社BONDS代表取締役 采田 信之氏による「相続&認知症から大切な資産を守る方法」の終活セミナー、そして無添加野菜スムージ作り。「なかなか聞けない話が聞いて良かった」「自然の甘味、青臭さがなくおいしい」とどちらも大好評でした。来年もお会いできるのを楽しみにしています。

若手女性研修会



令和4年12月5日（月）、青森県の畜産を元気にするための仲間づくりを目的とした「若手女性経営者研修会」を青森市の「ゆーさ浅虫」で開催しました。第1回目の今回は4名の参加で、自己紹介から始まり、子牛に関する話や悩み、若い頃の失敗談など、和やかな雰囲気での会となりました。

次回は2月頃、頭らくの結び方といった実技を含めた内容で開催する予定ですので、是非ご参加ください。

各種制度交付金単価

1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		541,000円	498,000円	320,000円	164,000円	274,000円
合理化目標価格		429,000円	395,000円	253,000円	110,000円	216,000円
令和4年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	605,400円	536,800円	—	149,500円	275,400円
	交付単価	—	—	—	14,500円	—
	交付額	—	—	—	6,974,500円	—

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
令和4年6月期(8月交付)	0円	30,939.3円	43,892.1円	
令和4年7月期(9月交付)	0円	29,910.8円	34,380.2円	
令和4年8月期(10月交付)	66,483.2円	41,755.7円	43,320.8円	
令和4年9月期(11月交付)	31,161.6円	21,557.7円	40,458.6円	
令和4年10月期(12月交付)	26,743.7円	4,468.7円	37,063.1円	(概算払い)

3. 肉豚経営安定交付金制度 (豚マルキン)

	平均粗収益	平均生産コスト	交付金単価
令和4年度 第1・2四半期(4月～9月)	42,428円/頭	38,830円/頭	0円/頭

青森県家畜市場成績 (七戸)

子牛 市場成績表

【開催日 4年12月9日】

1. 販売価格 税込み【子牛】

品種	性	今回分							前回分			Kg単価増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種 【小計】	雄											
	去	344	1,241,900	178,200	650,979	301	327	1,992	352	669,591	1,999	-7
	雌	201	1,061,500	85,800	546,892	304	296	1,849	230	549,522	1,808	41
	主	545	1,241,900	85,800	612,591	302	315	1,943	582	622,141	1,928	15
	主	12	675,400	106,700	466,400	300	262	1,780	16	544,569	1,990	-210

・黒毛和種の取引頭数は545頭で、前回より去勢8頭減、雌29頭減、全体で37頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は612千円で、前回より去勢18千円安、雌2千円安、全体で9千円安となった。

2. 主な種雄牛別の販売価格 税込み【子牛】

名号	去勢					雌					合計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	24	620,263	325	1,910	302	11	466,400	270	1,725	296	35	571,906	1,859	300	6.4
勝早桜5	26	729,215	343	2,128	305	21	640,829	327	1,958	294	47	689,723	2,054	300	8.6
茂晴花	52	663,131	323	2,055	305	36	523,539	291	1,802	310	88	606,025	1,958	308	16.2
美国桜	17	582,094	315	1,849	312	2	354,750	228	1,556	318	19	558,163	1,826	312	3.5
若百合	17	684,847	329	2,079	292	11	568,400	290	1,962	297	28	639,100	2,037	294	5.1
諒太郎	19	635,395	334	1,901	302	12	658,808	319	2,067	304	31	644,458	1,963	302	5.7
福之姫	16	856,006	343	2,498	299	14	644,286	323	1,996	310	30	757,203	2,271	304	5.5
総合計	344	650,979	327	1,992	301	201	546,892	296	1,849	304	545	612,591	1,943	302	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は、「第1花園」で、6.4%、次いで「勝早桜5」8.6%となった。
 第1花園の平均価格は571千円で、前回に比べ11千円安となった。単価は1,859円で前回より47円安となった。

青森県養蜂協会 はちみつ品評会



令和4年10月28日（金）に青森市「アピオあおもり」で青森県養蜂協会主催の第10回はちみつ品評会の審査会が開催されました。はちみつ品評会は、養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的で毎年開催されています。本年度は30会員から74本のはちみつが出品されました。

出品された蜜は事前に糖度を測定し、審査員がアカシア、トチ、リンゴ、その他の部門ごとに風味と色沢について厳正に審査を行いました。

審査の結果、トチの部の鈴木俊宏（おいらせ町）さんが県知事賞に輝きました。一方、別室では、来年度から実施されるインボイス制度に係る研修会が開催されました。インボイス制度が始まる前にどのような準備が必要か、参加された養蜂家の方々も熱心に耳を傾け、大変勉強になったとの声がありました。

今後も、青森県産はちみつの周知の促進と消費の拡大を図っていくこととしています。

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡下さい。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧になれます。

<http://www.keiba.go.jp/>



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822
青森県青森市中央二丁目1番15号
(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
経営支援課 Tel(017)723-2775
(017)718-3809
家畜衛生課 Tel(017)722-4331

F A X (017)731-1196
U R L <http://aomori.lin.gr.jp>
E-mail info@aomori.lin.gr.jp

